

がつ にち すい がつほせいよさん きしゃかいけん はっぴょうないよう
11月18日(水) 12月補正予算記者会見 発表内容

れいわ ねんど がつほせいよさん あん せつめい
それでは、令和2年度12月補正予算(案)について説明させ

ていただきます。

てもと たてが しりょうれいわ ねんど がつほせいよさん あん
お手元の、縦書きの資料令和2年度12月補正予算(案)の

がいよう らん
概要をご覧ください。

め ほせいよさん あん がいよう
まず、1ページ目ですが、「補正予算(案)の概要について」で

あります。

こんかい ほせいよさん きんきゅうしえんさく だい だん
今回の補正予算は、緊急支援策「第7弾」としまして、

ぜんこくてき しんがた かんせんしゃすう ふたた ぞうかけいこう
全国的に新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向とな

なか しみん せいかつ ちいき けいざい じょうきょう いぜん きび
る中、市民生活や地域経済の状況が、依然として厳しい

じょうきょう ふ ひ つづ かんせん かくだい ぼうしきく こう
状況であることを踏まえ、引き続き、感染拡大の防止策を講

しみん じぎょうしゃ みなさま しえん かくとう けいざい
じるとともに、市民や事業者の皆様への支援策等といった経済

たいさく せいかつ しえん かく も こ よさん へんせい
対策、生活支援策を盛り込んだ予算を編成いたしました。

くに じほせい れいわ ねんどう しょよさん あん いったいてき つか
また、国は、3次補正と令和3年度当初予算案を一体的に使

げつよさん き め ざいせい しゅつどう けいき かいふく
う「15か月予算」として、切れ目のない財政出動で景気回復

ちゅうりよく
に注力するとしています。

ほんし くに けん どうこう ちゅうし こうかてき
本市においても、国や県の動向に注視しつつ、効果的かつ

そうきゅう たいさく じっし ひ つづ かくしゅたいさく じっし
早急な対策を実施できるよう、引き続き各種対策を実施してま

いります。

つぎ よさん き ぼ れいわ ねんどいつぱんかいけいほせい
次に、予算規模についてですが、令和2年度一般会計補正

よさん だい ごう き ぼ おく まん ぜんえん ほせいご よさん
予算(第6号)の規模は、7億5,864万3千円で、補正後の予算

そうがく おく まん せんえん たいぜんねんどひ ぞう
総額は、339億1,384万9千円、対前年度比35.3%の増と

なっています。

つづ らん
続きまして、7ページをご覧ください。

しんがた かんせんしょうたいさくきんきゅう
7ページから8ページが新型コロナウイルス感染症対策緊急

しえんさく だい だん かか おも じぎょう
支援策「第7弾」に係る主な事業となっています。

つぎ らん
次に9ページをご覧ください。

しょうちゅうがっこうとくべつきょうしつとうくうちょうせつびせいびじぎょう
「小中学校特別教室等空調設備整備事業」をはじめとする、

た しゅうしさくいちらん
その他の主要施策一覧となっております。

つぎ きんきゅうしえんさく だい だん おも じぎょう よこが
次に、緊急支援策「第7弾」の主な事業について、横書きカ

しりょう もち せつめい
ラーの資料を用いてご説明いたします。

しりょう ひら
資料3ページをお開きください。

ちいきけいざいたいさく かか しさく のうぎょう
はじめに、「地域経済対策」に係る施策について、まず、農業

ぎょぎょう いとな かたがた む じぎょう のうりんぎょぎょうしゃ
・漁業を営む方々へ向けた事業であります、「農林漁業者

せいさんきばんしえん じぎょう じぎょう じっし
生産基盤支援パッケージ事業」として4つの事業を実施いたし
ます。

のうぎょうしゃ ぎょぎょうしゃしえん しんがた
まず、「農業者・漁業者支援」といたしまして、新型コロナウ

かんせんしょう えいきょう しゅうにゆう げんしょう しない
イルス感染症の影響により、収入が減少している市内の

のうぎようしゃ ぎよぎようしゃ しえん ほんしのうりんすいさんぎよう じぞくてき はってん
農業者・漁業者を支援し、本市農林水産業の持続的な発展

うなが もくてき のうぎようしゃ ふたん じきさく む
を促すことを目的として、農業者が負担している次期作に向

しぎい ぎよぎようしゃ ふたん こていけいひとう しえん
けた資材や、漁業者が負担している固定経費等への支援を

じっし
実施いたします。

しないぎいじゅう のうぎよう ぎよぎよう にな て たい まんえん ていがく
市内在住の農業や漁業の担い手に対し、2万円の定額

きゅうふ おこな
給付を行うこととしております。

つぎ のうぎようようはいすいきじょうせいびじぎよう しんがた
次に、「農業用排水機場整備事業」でございしますが、新型コ

かんせんしょう えいきょう せいさんしぎい こうとう よそう
コロナウイルス感染症の影響で、生産資材の高騰が予想され

のうぎようせいさんしゃ けいえい あっぱく つな おそ
ており、農業生産者の経営の圧迫に繋がる恐れがあることか

しない せいさんしゃ しえん ほんしのうぎょう じぞくてき はってん うなが
ら、市内の生産者を支援し、本市農業の持続的な発展を促

もくてき のうぎょうようはいすいきじょう せいび かか じもとふたんきん
すことを目的に、農業用排水機場の整備に係る地元負担金を

めんじょ
免除するものであります。

つぎ ちょうじゅうたいさくじぎょう しんがた
次に、「鳥獣対策事業」でございりますが、新型コロナウイルス

かんせんしょう かくだい よくし おおがたほかくおり どうにゅう
感染症の拡大を抑止するため、大型捕獲檻を導入し、

ほかくこうりつ こうじょう くじょいん がいしゅつ たしや
捕獲効率を向上させることで、駆除員の外出や他者との

せつしよくきかい げんしょう
接触機会を減少させるものです。

おおがたほかくおり どうにゅう ちょうじゅうひがい ぞうか ともな くじょ
また、大型捕獲檻の導入や鳥獣被害の増加に伴い、駆除

たいさくきょうぎかい かつどうけいひ じよせい ぞうがく ほかくたいせい きょうか
対策協議会への活動経費の助成も増額し、捕獲体制を強化

ちょうじゅうひがいけいげん はか
することで、鳥 獣 被害 軽減 を 図る ものです。

さいご すいさんぎょうせいさんきばんせいびじぎょうほじょきん
最後に、「水産 業 生産 基盤 整備 事業 補助 金」につきまして

しんがた かんせんしょう えいきょう うりあげだか
は、新型 冠 状 ウイルス 感 染 症 の 影 響 により、売上 高 が

げんしょう せいさんしゃおよ ぎょぎょうきょうどうくみあい しえん
減 少 している 生産 者 及び 漁 業 協 同 組 合 を 支 援 する こと を

もくてき ぎょぎょうきょうどうくみあい じっし すいさんせいさんきばんしせつ
目的 として、漁 業 協 同 組 合 が 実 施 する 水 産 生 産 基 盤 施 設 の

せいび かん と く たい ほじょ おこな
整備 に関する 取 組 みに 対 し、補 助 を 行 う 物 だ け ず。

つぎ らん
次 の ページ を ご 覧 ぐ だ さ い。

うずしおせかいいさんか すいしんじぎょう
「渦 潮 世 界 遺 産 化 タイ ア ッ プ マ イ ク ロ ツ ー リ ズ ム 推 進 事 業」で ご

しんがた かんせんしょうかくだい なか きんりんけん
ざ い ま す が、新 型 冠 状 ウイルス 感 染 症 拡 大 の 中、近 隣 県 や

けんないきやく たいしょう やくわり おお
県内客を対象としたマイクロツーリズムの役割は大きく、ま

なるとかいきょう うずしお せかいいさんとうろく めぎ
た、「鳴門海峡の渦潮」が世界遺産登録を目指していることを

こ し きうんじょうせい はか じっし
子どもたちに知っていただき、機運醸成を図るために実施する

ものでございます。

じぎょうないよう しないしょうがくせい たいしょう むりょうしょうたいけん
事業内容としまして、市内小学生を対象に、無料招待券

はいふ かんちょうせん の うずしお まぢか み
を配布し、観潮船に乗っていただき、渦潮を間近で見ることで、

あらた なると うずしお すば し きかい
改めて鳴門の渦潮の素晴らしさについて、知ってもらう機会と

いたします。

しょうがくせい みなさま なか かんちょうせん うずしお み
小学生の皆様の中には、観潮船から渦潮を見たことがない

かた なるとかいきょう うずしお せかいいさんとうろく
方もいらっしゃるので、「鳴門海峡の渦潮」が世界遺産登録を

め ぎ し なる と う ず し お
目指していることを知ってもらうこと、ダイナミックな鳴門の渦潮

み よ さ い は っ け ん き ょ う ど
を見ってもらうことで、ふるさとの良さを再発見していただき、郷土

あ い い ち じ ょ お も
愛をはぐくむ一助になればと思います。

か と お で り ょ う こ う む ず か じ ょ う き ょ う
また、コロナ禍で、遠出の旅行が難しい状況ですので、こ

き かい じ も と み り ょ く か ぞ く い っ し ょ た の お も
の機会に、地元の魅力をご家族と一緒に楽しんでいただこうと思

お と な め い む り ょ う は い ふ
い、大人1名でありますが無料のチケットを配布することといたし
ました。

し ょ う たい し せ つ な る と か ん こ う き せ ん ご う
招待施設は、「鳴門観光汽船(わんだーなると号)」と「うずし

き せ ん し ゃ し ゃ
お汽船」の2社のうち1社といたします。

りようきかん がつ にち ど がつ にち にち
利用期間は、12月26日(土)から3月21日(日)までです。

つづ た の ついかとうせん
続いて、「『食べ・乗り』追加当選」でございます。

しんがた かんせんしょう おお えいきょう う
新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている

いんしょくてん うんてんだいこうじぎょうしゃ しみん かたがた せいかつ
飲食店やタクシー・運転代行業者と、市民の方々の生活

しえん しない しょうひ かんき ちいきけいざい
を支援するとともに、市内における消費を喚起し、地域経済の

かつせいか はか もくてき つき
活性化を図ることを目的として、スーパープレミアム付チケット

た の がつ はっこう
「食べ・乗り」を10月に発行いたしました。

た の はっこうそうがく おく せんまんえん はっこう すう まん
この「食べ・乗り」は発行総額1億2千万円、発行セット数2万4

せん おお かた こうにゆう じゅんび
千セットとし、多くの方に購入いただけるように準備しております

はんばいすう ばいちか おうぼ ちゅうせん
したが、販売数の2倍近い応募があったことから、抽選となり
ました。

しょうひ かんき しんがた かんせんしょう おお
さらに、消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症により大

えいきょう う いんしょくてん うんてんだいこうじぎょうしゃ
きな影響を受けている飲食店、タクシー・運転代行事業者

かっせいか はか た の
のさらなる活性化を図ることにもつながるため、「食べ・乗り」の

ちゅうせん も かた たいしょう さいちゅうせん おこな ついかとうせん
抽選から漏れた方を対象に、再抽選を行い、追加当選さ

せていただきます。

こんかい はっこうないよう はっこうがく
今回のチケットの発行内容といたしましては、発行額3

ぜんまんえん ついかはんばい すう せん こうにゆう すうひとり
千万円、追加販売セット数6千セット、購入セット数1人2セッ

とうせんしゃすう ぜんにん
トまで、当選者数3千人といたします。なお、チケットは、これまで

どうよう えんぶん えん まい
と同様に、1セット5,000円分(500円のチケットが10枚)を

はんがく えん はんばい しょうきげん
半額の2,500円で販売します。使用期限についてもこれまで

おな らいねん がつ にち はんばい
と同じく、来年2月28日までとします。このチケットの販売

たいしょうしゃ がつげじゅんごろ ししょうこうせいさくか ついかとうせんぶん
対象者には、12月下旬頃に市商工政策課から追加当選分

こうにゆうひきかえけん そうふ
の購入引換券を送付いたします。

げんざい た の とりあつかいてんぼすう いんしょくてん てんぼ
現在の「食べ・乗り」取扱店舗数は、飲食店122店舗、タ

がいしゃ しゃ うんてんだいこう しゃ ごうけい てんぼ どうろく
クシー会社5社、運転代行1社の合計128店舗の登録となって

おります。

とりあつかいてんぼ ずいじしこうしき
また、取扱店舗につきましては、随時市公式ウェブサイト

こうしん
更新しております。

つづ かんせんかくだいぼうし かか しきく
続きまして、「感染拡大防止」に係る施策についてでありま

す。6ページを^{らん}ご覧ください。

かくこうきょうしせつ じどうふくししせつおよ きょういくしせつ てあら
まず、「各公共施設、児童福祉施設及び教育施設の手洗い

じどうすいせんかじぎょう
自動水栓化事業」でございます。

じぎょう てあら さい ふとくていたすう かた じゃぐち ふ
この事業は、手洗いの際に、不特定多数の方が蛇口に触れる

かんせんかくだい しょうひんど
ことにより、感染拡大のリスクがありますことから、使用頻度の

たか てあら ば じゃぐち じどうすいせんか おこな
高い手洗い場の蛇口の自動水栓化を行うものであります。

たいしょうしせつ ほいくしょ にんてい えん じどう どう じどうふくし
対象施設は、保育所、認定こども園、児童クラブ等の児童福祉

しせつ ようちえん しょうがっこう ちゅうがっこう けんこうふくしこうりゅう
施設、幼稚園、小学校、中学校、健康福祉交流センター、う

かいかん
ずしお会館になります。

つぎ がっこうしせつしつないかんきとうそくしんじぎょう
次に、「学校施設室内換気等促進事業」でございます。

しんがた かんせんしょう たいさく しつない かんき
新型コロナウイルス感染症対策として、室内の換気の

じゅうようせい しめ ようちえん しょうちゅうがっこう
重要性が示されていることから、幼稚園・小中学校における

きょうしつとう かんき こうかてき じっし
教室等の換気をより効果的に実施するため、サーキュレータを

はいび
配備します。

つぎ ひら
次のページをお開きください。

しみん みなさま じぎょうしょ じゅうぎょういん みなさま かんせんしょう まも
市民の皆様や事業所の従業員の皆様を感染症から守る

しさく けいさい
施策として、3つ掲載しております。

げんざい とうきょう おおさか だいとしけん
はじめに、現在、東京・大阪といった大都市圏をはじめ、

ぜんこく しんがた かんせんしゃ きゅうぞう れんじつ
全国で新型コロナウイルス感染者が急増しており、連日、

しんきかんせんしゃすう ぜんこく にん うわまわ じょうたい つづ
新規感染者数が全国で1,000人を上回る状態が続いてい

だい ば しんぱい こえ たか
ることから、「第3波」を心配される声が高まっております。

なか けんがい ざいじゅう だいがく せんもんがっこう ざいがくちゅう
こうした中、県外に在住し、大学や専門学校に在学中の

がくせい なか ねんまつねんし きせい あきら かた
学生の中には、年末年始の帰省を諦めようとしてされている方も

おも がくせい みなさま おうえん
いらっしゃると思われまます。このような学生の皆様を応援し、

しない しゅくはくしせつ りょう いただ じよせい おこな
市内の宿泊施設を利用して頂くための助成を行うことを

もくてき かぞく まも あんしんさとがえ じぎょう じっし
目的として、『家族で守るディスタンス 安心里帰り事業』を実施

いたします。

じぎょう けんがいざいじゅう なるとししゅっしん がくせい かた たいしょう
この事業は、県外在住で鳴門市出身の学生の方を対象

がつ にち れいわ ねん がつ にち あいだ しない
に、12月19日から令和3年2月28日までの間に、市内の

しゅくはくしせつ りよう きせい かた せんちやく めい いちりつ まんえん
宿泊施設を利用し、帰省された方、先着500名に一律1万円

しえん
を支援するものでございます。

ほんし がつ がつ なるとびん
本市では、6月から7月にかけて「ふるさと鳴門便がんばる

がくせいおうえん なるとさん こめ おく おうえん
学生応援プロジェクト」として、鳴門産のお米を送り、応援して

まい
参りました。

か なか ぼん きせい
このたびは、コロナ禍の中、ゴールデンウィークやお盆も帰省

がくせい おお おも しゅくはくしゃ
ができなかった学生が多いと思われることから、宿泊者が

けんさしえんじぎょう なるとしない こうれいしゃおよ しょう
検査支援事業」につきましては、鳴門市内の高齢者及び障がい

しゃしせつ じぎょうしょとう しょくいん たいしょう しんがた
者施設、事業所等の職員を対象とした、新型コロナウイルス

かんせんしょうたいさくしえんじぎょう じっし
感染症対策支援事業を実施します。

かんせん ばあい じゅうしょうか たか こうれいしゃ しょう
感染した場合に重症化するリスクの高い高齢者や障がい

しゃ ていきょう しせつ じぎょうしょとう けんがい
者にサービスを提供している施設や事業所等では、県外との

おうらい しょくいん いっていきかん しごと やす かんせんしょう
往来をした職員は、一定期間、「仕事を休む」という感染症

たいさく こう じれい じれい かさ
対策を講じている事例があります。このような事例が重なると、

ひつよう ていきょう けいぞく むずか じょうきょう かんが
必要なサービス提供の継続が難しい状況となることが考

かんせんしょうたいさく こう しせつとう そくめん
えられるため、こうした感染症対策を講じている施設等を側面

しえん
支援するものです。

ぐたいてき しんぞく そうしき かんびょう え じゆう
具体的には、親族のお葬式や看病など、やむを得ない事由に

けんがい おうらい しょくいん けんさ し しえん
より県外との往来をした職員のPCR検査を市が支援すること

そうき しょくばふっき うなが か けいぞくてき
により、早期の職場復帰を促し、コロナ禍においても、継続的に

しつ たか ていきょう たいせい かくほ はか
質の高いサービスを提供できる体制の確保を図っていただこ

うとするものであります。

さいご こうれいしゃ よぼうせつしゅじぎょう
最後に、「高齢者インフルエンザ予防接種事業」につきまして

じゅうしょうか たか さいいじょう こうれいしゃ たいしょう
は、重症化リスクの高い65歳以上の高齢者を対象としたイ

ていきよぼうせつしゅひよう ほじょ おこな せつしゅそくしん はか
ンフルエンザ定期予防接種費用の補助を行い、接種促進を図

じぎょう
る事業でございます。

つづ せいかつしえん かか しゅうがくえんじょじゅきゅうせたい たい
続きまして、「生活支援」に係る「就学援助受給世帯に対

してい ぶくろむしょうこうふじぎょう
する指定ごみ袋無償交付事業」についてであります。

じゅうみんぜいひかせいせたい ようけん がいとう せたい たい
住民税非課税世帯のうち6つの要件に該当する世帯に対

してい ぶくろ ねん かい むしょうこうふ れいわ
し、指定ごみ袋を1年に2回、無償交付していますが、令和2

ねんど がっこうふぶん あたら しゅうがくえんじょじゅきゅうせたい ついか
年度12月交付分より、新しく就学援助受給世帯を追加する

ほんじぎょう きけつよさん たいおう
ことにいたしました。なお、本事業については、既決予算で対応

よてい
する予定です。

いじょう ほせいよさん おも じぎょう がいよう
以上が補正予算の主な事業の概要です。

いじょう れいわ ねんど がつほせいよさん あん せつめい お
以上で、令和2年度12月補正予算(案)についての説明を終

えさせていただきます。